



9月は「防災月」でした。あったかふれあいセンター北郷では、毎月1回「防災学習」の日を位置づけて、くりかえし、くりかえし行うことで、危機意識をもってもらうように取り組んでいます。

避難する時に何をもっていくのか、自分たちで考えて準備物の確認や、地震を想定して屋外への一時避難をしたり、併せて体力を維持することも避難には欠かせないことだと気づいてもらい、日ごろから足腰を鍛えることにも取り組んでいます。

また、9月20日には、役場防災担当者から、地震だけでなく集中豪雨による災害についても、身近な情報を交えてスライドを見ながらお話をいただきました。

防災学習



北郷地域の危険な場所を図で示してくれたことで、自分の家がどんな状況の所にあるのかが分かった。北郷は、山津波の危険性が大きいので、石ころが崩れているとか、山からの水があふれている場所とか、普段から意識しておきましょう。

看護学生の実習



将来、看護師・保健師を目指している看護学生3名が手作りのゲームを持って実習に来てくれました。血圧測定をしながらお話を聞いてくれたり、短い時間でしたが、若者の笑顔が利用者さんたちに元気を与えてくれました。



♪薄紅のコスモスが 秋の日の～♪ 秋の花と言えばコスモス。稲刈りを終えた田んぼに種をまいてくれた農家さんのおかげで、秋のお花見が楽しめました。



「花はなぜ美しいか

ただひとすじの気持ちで咲いているから」

八木重吉

一生懸命頑張っている姿は見る人に何かを語り

かけます。頑張っている人が美しく見えるのはそのことに心を集中しているからだそうです。

利用者さんの一生懸命生きる姿や笑顔も、コスモスに負けないくらい美しく輝いています。



大方橋川のコスモスも今年は、地域の人が一生懸命お世話をして、見事な花を咲かせました。

サテライトかきせの利用者さんは、お弁当もちで秋のお花見を楽しみました。区長さんや給食ボランティアさん、橘川の畦地さん・宮川さんにもお世話になり、

穏やかな秋を体いっぱい感じることができました。

